

磐田市



桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第269号 2026年10月号

だより

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



あき 秋、桶ヶ谷沼でアカトンボが待っています

桶ヶ谷沼に秋がやってきました。桶ヶ谷沼ではアカトンボが見られるようになってきました。

日本ではアカトンボといわれる「アカネ属」に属するトンボは21種類が確認されていますが、桶ヶ谷沼ではそのうち13種類が確認されていました。しかし、近年確認できる種類が減ってきて8種類になってしまいました(写真の◎、○、△、◇参照)。また、種類だけでなく、個体数も減ってきています。さらに、かつては10月中旬ごろだった個体数のピークが11月上旬中旬にかわってきています。これらの原因は、湿地の減少や気温上昇などの環境の変化だと考えられます。

今年も桶ヶ谷沼の木道に竹竿をたてました。竿の先にとまる愛らしく鮮やかな桶ヶ谷沼のアカトンボたちに会いに来ませんか？



◎アキアカネ♂



◎アキアカネ♀



◎ナツアカネ♂



◎ナツアカネ♀



◎ヒメアカネ♂



◎ヒメアカネ♀



◎リスアカネ♂



◎リスアカネ♀



◎/シメトンボ♂



◎/シメトンボ♀



◎コ/シメトンボ♂



◎コ/シメトンボ♀



◎マユタデアカネ♂



◎マユタデアカネ♀



○マイコアカネ♂



○マイコアカネ♀



△ミヤマアカネ♂



△ミヤマアカネ♀



△ネクトンボ♂



△ネクトンボ♀



△キトンボ♂



△キトンボ♀



△オオキトンボ♂



△オオキトンボ♀



← ◇オナガアカネ♂
令和5年11月確認
朝鮮半島や極東ロシアからの季節風に乗って飛来した

◎: 確認頭数が多いもの
○: 確認頭数が減っているもの
△: 最近の調査では確認されていないもの
◇: 一時的に確認されたもの

アキアカネが減っている・・・？

アカトンボで最もよく見ることができたのは「アキアカネ」です。かつては、10月ごろ稲刈り前や稲刈りが終わった直後の田んぼで、たくさんのアキアカネが飛んでいたり、交尾・産卵をしたり、翅を休めたりしている姿を見ることができました。

アキアカネは、卵で越冬し、田に水がはいる春に孵化してヤゴになり、5月～6月にヤゴが成長し、夏に羽化します。その後、アキアカネは暑さが苦手なため、しばらくすると避暑のために高地へ移動します。そして、気温が下がった10月ごろに平地に戻ってきて、交尾・産卵するという生涯でした。

近年は、田んぼそのものが少なくなっています。育てる米の品種改良が進み、田植えや稲刈りの時期が早くなったり、水が少なくても稲が育つようになりつつあります。また、田んぼの水を抜く「中干し」の時期が早まり、ヤゴが死んでしまうこともあります。さらに、羽化の時期に田んぼの水が少なくなってヤゴが羽化しにくくなっています。そして、10月中下旬まで温かい日が続き、高地からの戻りが遅くなり、戻ってきたころにはすでに稲刈りが終わっていて水がなく、産卵できないという状態になっている田が多くなりました。

他にも原因はあるかもしれませんが、気候や環境、稲作の時期の変化が主な原因で、アキアカネは少なくなっています。一説では「1990年代から2000年代にかけて1/100に減った県もある」とのことです。静岡県についてはデータがありませんが、桶ヶ谷沼でさえ、ここ数年でアキアカネの数は減っているのが肌で感じられます。

残念ながら、よい解決策は見つかっていません。

センター行事「ハチの勉強会」

☆ 日時 12月6日(日) 9:30～11:30

☆ 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター

☆ 対象 一般(小学生は保護者の同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください)

☆ 内容 ハチの種類やハチの巣の成り立ち、生活史、ハチに刺されないための知識等について学びます。ハチやハチの巣の実物を見ることができます。

☆ 服装・持ち物 作業や観察のできる服装(長そで、長ズボン)

☆ 募集人数 20人(先着順)

★申し込みは直接、電話や来館でビジターセンターへ